

平成28年度 前期生徒会総会 校長あいさつ

平成28年度がスタートして約1ヶ月が過ぎました。順調なスタートを切れているでしょうか？

さまざまな組織には、目指すべき目標があり、学校には教育目標があります。本校では、知育・体育・徳育をバランスよく育むために3つの教育目標を挙げています。

教室にも掲示してあるから分かりますよね。 … 間 …

「進んで学習に励み、学力向上を目指す生徒」

「心身ともに健康で、たくましい生徒」

「礼儀正しく心豊かな生徒」の3つですね。

これらの目標を達成するために計画を立てます。計画を立てたなら、実行が求められます。限りある時間を有効に使い成果を上げる努力をします。そして、一定の期間が過ぎたら、自分の取組や言動を振り返って確認し、必要に応じて改善を図っていきます。

このようにして、目標の達成を目指していくのです。計画がP (plan), 実行がD (do), 確認がC (check), 改善がA (action), 目標達成に向けたこうした一連の流れはPDCAサイクルと呼ばれています。

先生方は、学校の教育目標の達成に向けて、PDCAサイクルを意識しながら取り組んでいます。生徒の皆さんにも、目標を達成する上で、そうした習慣を身に付けてほしいと考えています。生徒会活動は、そうした習慣を身に付けるための良い機会となります。

これまで、生徒会本部役員が中心となって、計画的に総会要項の作成や議案書審議を進めてきました。また、今日は、各委員会と連携・協力のもとに総会が運営されます。そして、議案にあるように、昨年度後期の反省を踏まえて、今年度前期の活動計画や予算案を協議し、P (plan) が確定します。その後、求められるのが、D (do) であり、C (check) やA (action) です。主体的に活動する組織・集団であるために、PDCAサイクルを意識して物事を進められるよう期待して生徒会総会にあたっての校長挨拶とします。